

浜学園	5年						
	算数						
学習内容	8月の学習内容 No.25速さ(4) No.26母面図形の性質(1) No.27母面図形の性質(2) No.28母面図形の面積(1)						
家庭学習ポイント	No25「速さ(4)」は時計計算です。時計の針が重なる、一定の角度になるまでの時間を計算するのが中心です。基本は分針の時針が1分間に進む角度(分針:6度・時針:0.5度)の差を使って考える「旅人算」です。「1時と2時の間で、時針と分針の間の角度が〇〇度になるのは」といった問題ですが、必ずスタート時(上記の問題では1時)の図を書き、追いつく(追い抜く)までの角度が何度あるかを確認してから計算を始めることが必須です。No26からは平面図形の学習に入ります。No26では角度、No27では対称と多角形、円の性質についてです。角度の問題にもさまざまなパターンがありますが、それぞれについての「方針」とその理由をしっかりと理解しておくことが重要です。たとえば折り返しの問題であれば、「折り返す前と後の図形は合同」、円の問題であれば「円の半径はどこでとってても同じ」というのが解くための方針のもととなります。No28からは面積計算に入ります。まずは単位を正しく理解することが必須です。「丸覚え」ではなく「縦と横の長さがそれぞれ10倍になると面積は10×10=100倍になるから、100倍ごとに単位が変化(100m ² =1a・100a=1ha・100ha=1km ²)といった理解が伴っていることが理想です。						
課題の把握と解決策	チェック1	時計計算では必ず図を書いて解き始めていますか？					チェック
	解決策	「簡単な問題だから…」と端折っていると正答率は下がります					□
	チェック2	時計計算の特殊なパターン(速さの和で考える)について理解していますか？					チェック
	解決策	必ずしも「追いつく」「追い抜く」ばかりではありません。パターンで覚えられないことです					□
	チェック3	角度の問題で、闇雲に大きさのわかる角度を書き込んでいませんか？					チェック
	解決策	まず「解くための方針」を立ててから解き始めるクセをつけましょう					□
	チェック4	「円の問題といえば、引く補助線は？」と聞かれたら？					チェック
	解決策	「半径はどこも長さが同じだから中心から円周上の点まで」といった方針が立てばいいですね					□
	チェック5	面積の問題で「30度」が出てきたら					チェック
	解決策	正三角形の1/2の直角三角形を探することができるといいですね					□
浜学園	5年						
	国語						
学習内容	8月の学習内容 No25詩を読む① No26詩を読む② No27短歌 No28俳句						
家庭学習ポイント	9月は詩の読解が2回、そしてその後は短歌、俳句の読解です。No25・No26は詩の読解です。比喻を用いて表現に工夫を凝らしたものの、自然に対する感動をうたったもの、子への愛情を表現したものなど、詩がもつ独特の表現などを読み解いていきます。テキストに収録されている詩を朗読し、どのような情景なのか映像のように思い浮かべてみましょう。お子さんに想像してもらいながら「どんなことが見える？」と質問してみてください。この読解技術は、物語文の読解にも応用できる「映像化」という方法です。余裕があるなら、学習計画表を参考に、上のクラスの範囲を解いてみるのもよいでしょう。No27は短歌、No28は俳句の読解です。短歌と俳句は詩以上に「行間を読む力」が求められますが、まずは季節を感じることが重要です(俳句には季語があり、短歌でも季節の情景を歌ったものが多くなっています)。こちらも音読して情景を思い浮かべることが有効ですが、ひととおりよく出題される短歌や俳句に触れておくことも重要です。						
課題の把握と解決策	チェック1	詩や短歌・俳句などの韻文によく使われる表現技法を理解していますか？					チェック
	解決策	倒置法・比喻・繰返し・擬人法などひと通り押さえておきましょう					□
	チェック2	詩の読解では、情景を映像のように思い描きながら読んでいますか？					チェック
	解決策	詩以外にも、物語文などでもこの方法をためてみましょう					□
	チェック3	正解した問題についてもテキストの解説を読んでいきますか？					チェック
	解決策	読むことによって、自分の回答とは別の視点が見つかります					□
	チェック4	有名な短歌、俳句に触れる経験がありますか？					チェック
	解決策	わかりやすく解説した書籍などを探してみるのもいいでしょう					□
	チェック5	語彙を増やす努力をコツコツと続けていますか？					チェック
	解決策	語彙の学習は入試直前まで(入試当日も含める)くらの意識で続けましょう					□

浜学園	5年						
	理科						
学習内容	9月の学習内容 No.25 風のふき方と雲のでき方 No.26 天気記号・気団と前線 No.27 四大気団と日本の天気 No.28 てんびんとてこ						
家庭学習 ポイント	No25～27 が気象単元、No28からは力学に入ります。No25「風のふき方と雲のでき方」では上昇気流による雲の発生の仕組みを学習します。ただ現象を暗記するだけでなく「なぜ上昇気流が起こるのか」「上昇気流で雲ができるのはなぜか」を自分なりに説明できるようにしておくことが大切です。No26「天気記号・気団と前線」では天気図の見方、天気図記号などについて学習します。天気図記号についても「丸覚え」ではなく、記号の○を空全体の様子、中に示された記号が雲や降ってくるものの様子と考えるなど、因果関係をもとに知識をつける工夫をしましょう。No27「四大気団と日本の天気」では日本付近の1年の天気の変化（四季）について学習します。他の分野同様に「丸覚え」せず、太陽のエネルギーをスタートとした「ストーリー」で理解できるよう心がけましょう。気象の分野は覚えるべきことが多く「暗記が大変だ」と思っているお子さんが多いのですが、知識の裏側にある理由やしくみを理解することで、「丸暗記」で苦痛に感じることなく「長持ちする」知識を手に入れることができます。No28「てんびんとてこ」では、てこのつり合い計算を学習します。つねに「かかる力の大きさ×支点までの長さ」を計算（モーメント計算）しますが、苦手とするお子さんの多くは「支点までの長さ」を間違えて捉えがちです。図の支点部分（自分が支点と考えた部分）に印を書き込むなど工夫しましょう。						
課題の把握 と解決策	チェック1	気象についての学習を「丸暗記」しようとしていませんか？					チェック
	解決策	風がふくにも雨が降るにもすべて「ストーリー」があります					☐
	チェック2	天気図記号を具体的な「イメージ」とともに覚えていきますか？					チェック
	解決策	「外側の○が空全体、内側が雲を表しているからくもりは◎」といったイメージです					☐
	チェック3	日本の四季の天気の特徴について、1年分説明できますか？					チェック
	解決策	こちらもやはり1年を通した「ストーリー」があります。本科の説明をもとに組み立ててみましょう					☐
	チェック4	力学計算に苦手意識を持っていますか？					チェック
	解決策	苦手な子は「答えが合わない＝苦手」と思っています。正しい計算法をこの機会に確認しましょう					☐
	チェック5	「支点までの長さ」を間違えてとらえていませんか？					チェック
	解決策	おもりが複数個ある場合に「おもりとおもりの間の距離」を使って計算して間違うことがあります					☐
浜学園	5年						
	社会						
学習内容							
家庭学習 ポイント							
課題の把握 と解決策							チェック
							☐
							チェック
							☐
							チェック
							☐
							チェック
							☐
							チェック
							☐